

令和6年5月9日

大山町議会議長 米本 隆記 様

大山町議会議員 豊 哲也

大山町議会議員派遣報告書

1	目的	自治体財政の見方 健全か判断比率を中心に
2	派遣場所	滋賀県大津市 JIAM 施設
3	期間	令和6年4月18日(木)～19日(金)
4	派遣議員	豊議員
5	報告	<p>【講義】 国家戦略特区の取組と地方創生 兵庫県養父市 市長 広瀬 栄 氏</p> <p>国家戦略特区は全国で13箇所設定されており、養父市もその一つ。ケースが特殊であるが、既存の規定や既得権をゼロベースから考え直すあり方には共感できた。</p> <p>【講義】 「お笑い」の力で地域活性化 吉本興業ホールディングス株式会社代表取締役副社長 泉 正隆 氏</p> <p>特定の企業のPRのような講義だった。</p> <p>【講義】 地域マーケティングによる戦略的なまちづくり 秋田大学教育文化学部 准教授 益満 環 氏</p> <p>講師の益満先生は専門がマーケティングであり、自治体において少ない外部人材がコンサルティングを行なううまくいった事例だと思われる。</p> <p>大学からは車で1時間ほどの大仙市の日本酒のブランディング事例。</p> <p>学生が携わることで、「産学連携」をキーワードとしてさまざまなメディアに取り上げられる手法をとっている。</p> <p>この事例は「産学連携」だがメディアが取り上げやすいストーリーを組むことが重要だ。それをベースとして、しっかりとしたマーケティング戦略が練られている。TVCMに力を入れていたのには驚いた。</p> <p>3ヒット理論 3回目になると商品を認知する。 7ヒット理論 7回目になると商品の購買率が上がる。</p>

一番重要なことに人の選定をあげておられた。どんなコンサル会社なのか。実績があるのか。

【講義】 地域ブランディングのケーススタディ

株式会社CARTA 代表取締役 矢田部 美里 氏

地域の産品を富裕層向けの商品にブランディングしている会社。

強みとして各専門家をチームとしてつながりを持たせており、ワンストップで商品づくりができる。

ディレクション、商品化、パッケージデザイン、撮影、webデザイン、マーケティング、販路拡大などこうした一つ一つをできる専門家は地方にもいるので、何が足りていないのか見える化し、連携・仕組みづくりが重要だ。外部事業者に丸投げではなく、行政職員が核となることで、ノウハウが自治体に蓄積されることが望ましい。